

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆1月の消費者物価3.2%上昇、コメは7割プラスで過去最大

・総務省が発表した1月の消費者物価指数(CPI、2020年=100)は変動の大きい生鮮食品を除く総合が109.8となり、前年同月と比べて3.2%上昇。3カ月連続で伸び率が拡大。生活実感に近い生鮮も含む総合は4.0%上昇し、2年ぶりに4%台となった。QUICKが事前にまとめた市場予測の中央値は、生鮮食品を除く総合が3.1%上昇。

◆2025年度予算案成立へ 自公維、教育無償・社保改革で合意

・自民、公明両党と日本維新の会の政調会長は教育無償化や社会保障改革に関する文書に合意した。維新の主張を踏まえて2025年度予算案を修正。野党第2党の維新が賛成に回るため、少数与党の国会でも25年度予算案の成立が確実に。それぞれ党内で手続きを経たうえで党首会談で正式に合意文書を交わす。

◆大口径下水管、20年後に6割「寿命」 春にも再発防止案

・埼玉県八潮市の交差点で道路が陥没した事故を受け、国土交通省は再発防止策を議論する有識者委員会の初会合を開いた。直径2メートル以上の比較的大きい管路は全国に約9790キロメートルあり、20年後には全体の6割が耐用年数を超過するとの試算を示した。今春にも再発防止策を盛り込んだ中間とりまとめを公表する。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆東京の「木密」防火対策、町丁目単位で 1000ha新指定

・東京都は木造住宅密集(木密)地域の防火対策で、新たに「防災環境向上地区」を指定する。町丁目単位で範囲を定め、道路の拡幅や公園、空き地の整備などを進める。2024年の能登半島地震では1カ所の火の手が瞬間に広がった。地域の状況をきめ細かく把握して対策を施し、首都直下地震など大規模災害への対応力を高める。

◆1月の国内粗鋼生産、6.6%減 11カ月連続減少

・日本鉄鋼連盟は1月の国内粗鋼生産量が前年同月比6.6%減の678万7100トンだったと発表。減少は11カ月連続。建設や製造など向けの国内の鋼材需要が低迷するほか、中国の過剰生産で海外市況が低調に推移し輸出も振るわない。高炉でつくる「転炉鋼」は5.2%減514万6200トン、電炉でつくる「電炉鋼」は10.7%減164万900トン。

◆1月住宅展示場来場者、2エリアで2ケタ増 4エリアは減少幅拡大

・住宅展示場協議会と住宅生産振興財団が公表した1月の住宅展示場来場者組数は27万6702組(前年同月比7.4%減)で、4カ月連続の減少。九州・沖縄が再び減少し、6エリアがマイナス。今期来場者の累計は、前年比3.6%減の256万6393組。増加したのは北海道(28.9%増)、信越・北陸(41.3%増)でいずれも2ケタの増加となった。

《 注目商品 》

■ハウステック、非日常を味わうバスルーム「雅月(みやびつき)」

・非日常を味わいながら、浴室空間としての快適さを損なわない完全受注生産モデルのシステムバスルーム。一般的な戸建住宅やリフォームにも取り入れやすいよう、1坪サイズを新たにラインアップ。木曾檜、樹脂コーティングした天然檜で、耐久性に優れた浴槽を採用。



■コメリ、庭用ライト新発売 センサー付きで防犯にも

・太陽光式で人感センサー付きの庭用ライトをプライベートブランドで新たに発売。暗くなると自動で点灯し、半径5メートルの範囲で人などを感知すると2.5~10倍に明るさが変わる。庭を装飾するガーデンライトとして使用しながら防犯対策としても活用。



■アクア、AQUA冷凍冷蔵庫「TXシリーズ」

・QUA冷凍冷蔵庫のフラッグシップモデル「TXシリーズ」の最新機種を発売。2025年モデルはインテリア性の高いデザインと上質さをさらに追及し、AQR-TX51Rにスタイリッシュな「ミラーガラス」と個性的な「石目調ガラス」の表面素材を採用。

